

油断大敵

心配していたことが現実になりつつあります。東京ではここ数日、新型コロナウイルス感染者が200人を越え、首都圏で増加傾向にあります。国内の新規感染者数も土曜日は430人となり、緊急事態宣言解除後で最多です。

5月25日の緊急事態宣言解除後、確かに街への人出は徐々に増え、私の近くの「道の駅」も休日には車がいっぱいです。新たな感染者数が一桁になり、収束間近が見えてきたからだと思います。私たちの間で「油断」めいた気持ちがあったようにも思います。実際、教頭先生からお願いがあったように、私たち自身がマスクの着用に対する気の緩みが見られました。生徒の検温確認、放課後や部活動後の消毒作業など、先生方にはご苦勞をかけています。決して油断はしていないかもしれませんが、暑さが増してきて「もううんざり」と思っているのは私だけではないと思います。だからこそ授業中はもちろん、外出時のマスク着用、手洗いと手指消毒の励行、3密の回避、ソーシャルディスタンスの保持等、感染防止の基本を継続していく必要があります。窮屈に感じることもあるとは思いますが、生徒の安全・安心が最優先です。先生方の協力なしではできません。心配なことはお互いに出し合いながら取り組んでいきましょう。

豪雨発生から一週間 続く大雨

先週は大雨による臨時休校への対応をはじめ、放課後の生徒引き渡し、下校指導等、本当にあり

がございました。今週も雨が数日続く予報です。十分に気をつけていきたいと思います。

「線状降水帯」よく天気予報で耳にします。ここ数年の豪雨は線状降水帯によってもたらされています。金曜日は激しい雨の中での下校指導となりました。雨の中、先生方がびしょ濡れになりながら交通整理をして生徒を誘導する姿に心から感謝します。雷が鳴りはじめ、自転車の生徒を昇降口で待機させることとなり、新たな混乱を招いたこと申しわけなかったと思います。刻々と変わる状況を的確に判断していく必要を改めて感じさせられました。長先生から提案してもらった「大雨特別警報などによる保護者への引き渡しについて」の対応計画は生徒の安全・安心を守る大切な内容です。今後、先生方が役割を把握し非常時の際にスムーズに動くことで生徒の安全を確保するための協力体制を構築していきましょう。

とうちゃんクラブ作業

多くの方に参加をしていただき、作業を行いました。重機やトラック、草刈り機やトラックなどを持ってきていただき、1時間ほど作業をしました。テニスコート横や部室東側フェンスの木の枝の伐採、玄関横の整備、テニスコート周りやサッカーコートの溝の泥あげ、グラウンドや周りの草刈り等に汗を流していただきました。次は9月に行います。先生方も都合がつけば参加をお願いします。

